

村上市算数部

部長 佐久間隆司（村上小）

1 研究主題

思考力・表現力を育成する指導の工夫

2 研究主題設定の意図

学習指導要領では、思考力・表現力の育成が重要視されている。また、算数科のねらいにおいても、思考力と表現力は互いに補完し合う関係にあると明記されている。

そこで、今年度は、これらの力の育成に焦点を当て、それぞれの力を相乗的に育成していきたいと考え、標記の研究主題を設定した。

3 研修の方法

村上小の村上市小教研指定授業実践研修会に参加し、思考力・表現力の育成について研修を深める。

4 事業の実際

○ 4月 組織の編成及び算数部研究計画の作成

○ 11月 第1回部会 村上小の村上市小教研指定授業実践研究会に参加
村上小の研究主題：「思考力」「表現力」を育てる学習指導の工夫

《内 容①》

低・中・高学年部に分かれて公開授業を参観

低学年部・・・1年「かたちあそび」五十嵐静子教諭

中学年部・・・3年「はしたの大きさの表し方を考えよう」大関恵子教諭

高学年部・・・5年「面積の求め方を考えよう」海津健太教諭

《内 容②》

授業改善の実効性を高めるための方策等を研修(学力向上に係る計画訪問)

指導者 下越教育事務所 指導主事 神田 武司 様

《内 容③》

低・中・高学年部に分かれて協議会に参加（グループ協議）

低学年部 指導者 村上市教育委員会 指導主事 齋藤 隆 様

中学年部 指導者 下越教育事務所 指導主事 神田 武司 様

高学年部 指導者 阿賀野市立笹岡小学校 校長 速水 紳 様

○ 12月 研究のまとめ（原稿の執筆）

5 研修会に参加しての学び

(1) 思考力を育てるためには、まず、解決するための基本的な習得事項（知識や技能）を、子どもにきちんともたせておくことが大切である。その上で、それらを活用し、関連付けながら解決していくことで、思考力は育つと考えられる。前提となる習得事項の定着が低い場合には、「教えて、考えさせる」という視点も大切である。

(2) 思考力や表現力を育てるためには、絵や図、言葉、式などを関連付けながら考えたり表現したりする力を身に付けることが大切である。また、筋道立てて考えたり順序よく説明させたりする際は、順序を表す接続語を使用させることも有効である。表現することで考えをより確かにする、という視点からも思考と表現の関連は大切である。

(3) 思考力や表現力を育成するためには、それらの力を具体的にどのようにとらえるのかをまず大切にしたい。その上で、授業過程のどの場面で育てるのかを、明確にして授業に臨む必要がある。それが明確でなければ、ただ授業研修を行っても、成果がなかなか見出せない。意図的に仕組んで子どもを育てていくという姿勢が大切である。